



2007.3
vol.34

大好き いばらき



パン作りから食の大切さを学ぶマザーズキッチン（取手市）

特
集

ご近所の底力 2~4

【助成団体紹介】

- 高森区（桜川市） 2
- マザーズキッチン（取手市） 3
- みたらし民生委員児童委員協議会（鹿嶋市） 3
- 水戸市藤が原町内会（水戸市） 4

- 大好き いばらき “夢のある家庭や子育てができる社会を築く” シンポジウム 5
- 大好き いばらき エコライフ運動 推進大会【平成18年度茨城県生活学校運動大会】 6
- 大好き いばらき 県民運動 活動紹介 7
- ネットワーカー訪問 8
- Information 8

大好き いばらき 県民運動

365日、各地域で行われている青少年育成・福祉・生活環境など、さまざまな分野での活動を、県民や団体、企業、行政が手をつないで支えあい、やさしさとふれあいのある茨城を創っていく運動、それが「大好き いばらき 県民運動」です。



特集

ご近所の底力

平成 18 年度

ご近所の底力再生事業 助成団体の紹介

地域コミュニティの自主的・主体的な取り組みを支援する「ご近所の底力再生事業」も3年目となりました。この3年間で、助成申請数も1,000件を超え県内各地で新たな地域活動が芽生え、育ってきています。

今回の特集では、平成18年度ご近所の底力再生事業の助成団体のなかから、4団体の活動をご紹介します、自らの地域を創っていく人と人とのつながり・「地域力」をみてまいりましょう。

無人駅周辺活性化プロジェクト『いきいき・駅サイト』

JR水戸線大和駅は人目の届きにくい無人駅であるため、たびたび事件が起きて住民の不安もありました。

高森区（桜川市）

そこで桜川市高森区では、安全安心な環境づくりの出発点として無人駅周辺活性化プロジェクト『いきいき・駅サイト』をはじめました。

まず、楳材を使ったテーブル製作に取り掛かり、ギャラリー・サロン化することで、子どもから高齢者までだれもが安心して、ふれあい憩うことが出来る駅を目指しました。

さらに、バザーやバーベキュー大会、旧真壁町のひな祭り支援など、駅の利用者を仲間へ引き込んでのイベントを開催したり、駅舎内に掲示板や意見箱を設置し、広報誌を発行することで利用者との意思疎通に役立てています。また、駅庁舎・駅公園の継続的な清掃にも力を入れています。

活動の参加者からは「幅広い年代の方々と交流ができ、情報交換の場になっている。生活に張りが出てきて、楽しく活動しています。」という声が聞かれました。

実行委員長さんによると「以前より駅を綺麗に利用してくれる人も増えました。今後も活動を続けて、ここに住んでみたいと思われるような地域にしていきたい。」とのことでした。

この活動をご近所再生の出発点と考えて、活動の輪を広げています。



駅舎内のギャラリー



食育から広がるネットワーク

マザーズキッチン（取手市）

手作り料理を通じたネットワーク団体「マザーズキッチン」は、代表の森崎さんのバレーボール仲間と幼稚園に通う子どものお母さんたちが、サークル活動でパン作りを5年前に始めていたのがきっかけで、平成18年に発足しました。会員は寺原小学校の児童を中心に親子30名ほどですが、口コミで会員以外の方も参加できるオープンな会になっています。

月ごとにテーマを用意して、パンのほかにも、ステンシル（クリスマスリース・給食袋）やバレンタインチョコ作りなどを行いました。親子パン作りでは、手順ごとに説明しながら子どもたちがパンを作るといった作業を行っています。子ども同士で教えあい助け合いながら、自ら進んで調理します。その様子を大人たちはやさしく見守り、時には手助けをして、子どもたちの食に対する興味と自主性を育てる場所になっています。

森崎さんは「今年は基盤づくりの年。もっと活動の幅を広げていきたい。」と今後の抱負を語っていました。ジャンクフードが世にあふれ、手作りのよさが薄れつつある今日、食育を通して広がる地域のネットワークは、大人たちの社会にも、そして子どもたちの将来にも、大きな贈り物を残してくれるでしょう。



助け合いながらのパンづくり

災害時ひとりも見逃さない

みたらし民生委員児童委員協議会（鹿嶋市）

鹿嶋市内には、3つの地区に民生委員児童委員協議会があり、「みたらし地区」は、宮中・高松・豊津の市内中心部を担当する委員31名で組織されています。全世帯数は約7,300世帯あり、独り暮らしの高齢者や障害者・母子家庭など福祉分野の対象となる世帯も年々増えています。地域との関わりが希薄になってきている現代、このような方々を災害から守るため、各家庭を訪問し『あんしんカード』を作成、緊急時の連絡体制づくりに取り組んでいます。

また、各種イベントにおける非常食の炊き出しをはじめ、花だんの整備などの環境美化活動や登下校時の子どもたちの見守り活動・子育て支援活動などにも積極的に参加し、住民との交流を深めています。

「個人情報保護法の施行により、各家庭に入っていくのが難しくなっている昨今、揃いのベストを着用して活動するようになってから、活動が地域の住民に理解され、委員本来の活動もしやすくなってきた。」と高木会長さんはお話ししてくれました。

今後は、市全体で取り組んでいる小学校区単位の地域社会福祉協議会を立ち上げ、住民主体の福祉社会づくりを実現していくとのことです。



あんしんカード作成のため各家庭を訪問



ゼロから始めた町内会活動

水戸市藤が原町内会

水戸市西北の郊外、城里町に隣接する水戸市藤が原で、水戸ニュータウンの開発が進んでいます。約2年前に誕生したニュータウンには県外からの転入者も多く、年齢・家庭環境も様々で、過去に企業主導で開発された団地などとは違う特徴があります。

「隣の子どもの顔も分からなくては困る」と、初期に入居した住民が主体となって町内会を発足。子どもから高齢者まで快適に住めるコミュニティを目指そうと、皆で色々話し合ったそうです。

ニュータウン開発のなかで造成された多自然型調整池の周辺には、絶滅のおそれのある貴重な動植物が多く残されていることがわかりました。そこで、これらの自然を維持しながら住民たちが顔見知りになるきっかけにもしようと、入居が増える時期をみて、草刈りや、保全対象の動植物の観察会や勉強会を行いました。

さらに、県住宅供給公社主催で、ニュータウン内にある小学校を会場にして「ホテル観察会」を行うなど、関係者が一体となってまちづくりに取り組んでいます。

町内会長さんは「新しく引っ越して来る方も多く、今は土台作りの段階です。その時期にあった活動を地道に続けて、ここに住んでよかったと思えるコミュニティにしていきたい。」と語ってくれました。



調整池周辺の草刈り活動

ご近所の底力・人づくりセミナー

【前期】 12月3日(土)～4日(日) サンピア日立 (日立市)
【後期】 3月11日(日) 茨城県三の丸庁舎 (水戸市)

地域コミュニティづくりの能力向上を目的に、県内各地から18名が参加して「ご近所の底力・人づくりセミナー」を開催しました。

常磐大学教授の池田幸也先生の指導のもと、「風(テーマ)を考え、土を耕す(地域活動)方策を考え形にする」をテーマに、前期課程では、事例研究を行いながら、参加者自らが地域で取り組むための「計画書」を作成。約3ヶ月間にわたる地域での実践活動を経て、後期課程では「活動報告会」を開催しました。

参加者同士の地域を越えた交流の輪も広まり、熱気あふれるセミナーとなりました。

今後は、参加者の皆様それぞれが地域のリーダーとして活躍されることを期待しております。



セミナー参加者の皆さん

ご近所の底力井戸端会議

日時：1月27日(土)・28日(日)・2月3日(土)・4日(日)
場所：水戸・土浦・筑西・鹿嶋の各会場

平成16年度・17年度に「ご近所の底力再生事業」の助成を受けた団体を中心に、地域コミュニティ活動に取り組んでいる方々の情報交換の場を提供する「ご近所の底力井戸端会議」を開催しました。

各団体の活動紹介から始まり、後継者の育成や、会社勤めの方の活動参加など、共通の課題についても積極的に意見交換が行われました。今後の目標として、地域内の各団体のネットワークづくりや、子どもを含めた世代間交流の重要性を再確認するなど、有意義な会議となりました。

会議には、ご近所の底力再生事業推進プロジェクト会議の委員も加わり、福祉・環境保全・防犯など、それぞれの専門家の立場から貴重な助言をいただきました。



井戸端会議の様子

大好き いばらき

“夢のある家庭や子育てができる社会を築く”シンポジウム



いま、急速に少子化が進んでいます。国や県では様々な対策を進めていますが、少子化が進む理由のひとつには、若い世代の人達が将来に漠然と不安を持ち、結婚や子育てに前向きになれないことがあると考えられます。

大好き いばらき 県民会議では、少子化の背景にある要因を見つめ直し、家族の絆の重要性を再認識して、結婚・子育てへの不安感を払拭するため、共に考え、共に語り合い、共に行動することを目的に3月10日（土）茨城県立図書館・茨城県三の丸庁舎で「大好き いばらき “夢のある家庭や子育てができる社会を築く”」シンポジウムを開催しました。

事例発表

常磐短期大学幼児教育保育学科教授 江波 諄子さんをコーディネーターに迎え、4人のパネラー、(有)ライブラリーフェロー代表取締役 山下 郁子さん・守谷市障害者福祉センター生活指導員 芳師渡 正人さん・いばらき出会いサポートセンターコーディネーター 兼子 千恵子さん・茨城県信用組合 人事部次席調査役 川井 利久さんによる事例発表が行われました。

山下さんからは、ごく普通の専業主婦が、一念発起して会社を起こした状況や仕事と子育てのご苦労を通し、母親として子どもさんとのコミュニケーションの大切さなどについて、芳師渡さんからは、子どもの誕生を機に3ヶ月の育児休暇を取得した体験を通して男性が育児休暇を取ることへの周囲の反応や理解、また取得しなければ感じ得なかったかもしれない子育ての感想について、体験談をからめて楽しくお話しいただきました。また、兼子さんからは独身男女の出会いのコーディネートを行う中で感じる現在の男女の結婚観の相違や誰もが次世代の模範であるという話をいただきました。また、県信用組合では、3人以上の子どもを持つ家庭への住宅ローン金利の優遇や、3人目以降の子どもが生まれた従業員に100万円の祝い金を出すなど、子育てに伴う経済負担の軽減に努めているとお話しいただきました。



分科会・託児室

参加者が分科会の会場ごとに分かれ、ともに昼食をとりながら親睦を深めました。会場では手作りの豚汁や漬物もだされ、楽しくにぎやかな会になりました。

昼食後は、事例発表をしたパネラーが中心となり、4つの分科会に分かれて意見交換を行い、育児中の方の生の声を聞いた学生さんからは、「大変さや責任についてあらためて考えさせられたが、明るく楽しい家庭を作りたいという希望をもつことができた。」や「親や祖父母世代の方とこういった内容の話をしたことはないの、とてもいい機会になった。」などの発言が聞かれました。

また、会場には託児室を設置し、21人のお子さんをお預かりし、わかかな保育園の保育士さんと常磐短期大学幼児教育保育学科の学生さんによるボランティア協力で、シンポジウム終了まで無事にお預かりすることができました。



分科会会場



託児室

大好き いばらき エコライフ運動 推進大会

【平成18年度 茨城県生活学校運動大会】

地球温暖化をはじめとする今日の環境問題の解決を目指し、家庭や地域・学校・職場などさまざまな場面での“エコライフ運動”の輪を広げていくことを目的とする「エコライフ運動推進大会」を3月19日（月）県民文化センターにおいて開催しました。

大会には生活学校会員やエコライフ運動参加登録団体の方々など、環境問題に対して意欲と関心を持つ約450人の県民の方々にご参加いただき、神田 紫さんによる「環境講談」や各地域での取り組み事例の紹介を通して、持続可能な循環型社会の実現についてみんなで考えました。

●環境講談

“ものを慈しみ、人に感謝の心を”「もったいない善兵衛」

講師 神田 紫（女流講談師）

「講談を通じて、世の中のために何かしたい。」ノーベル平和賞受賞者のワシントン・マータイさんが日本語の「もったいない」という言葉に感銘を受けたという記事を読み、「もったいない運動」に賛同した神田さん。この日は、自作の環境講談「もったいない善兵衛」を披露して下さいました。

“もったいないを地で行く”江戸の小間物屋の奉公人・善兵衛の節約生活を楽しむ姿をおもしろおかしく語り、会場を沸かせていただきました。参加者の皆様からも、「大変楽しくわかり易く、ためになる講談でした。」といった感想が多数寄せられました。



●事例発表

資源を大切に ～那珂市リサイクルセンターの取り組み～

那珂市生活学校（那珂市）

資源の再利用・再生利用を目的に、平成6年から週3回、旧那珂町役場の施設を利用して、市内の女性団体5団体で「那珂市リサイクルセンター」を運営しています。

市民が持ち込んだ不要品を分別整理、再利用可能な衣類や自転車などを、安価で販売するとともに、定期的にフリーマーケットを開催しています。

物を大切にする市民の意識も高まり、若い世代の利用者が増加するとともに、リサイクル運動のネットワークも広がりを見せています。



環境にやさしいごみの排出 ～レジ袋は遠慮する～

谷河原町会（常陸太田市）

今年度から町内会ぐるみで「環境にやさしいごみの排出運動」を展開しています。買い物フレッシュバックを全戸に配布し、買い物はレジ袋を遠慮し、買い物袋を利用することによって、ごみの排出抑制を図っています。また「地球温暖化防止標語」の募集や、市の資源ごみ回収事業に参加するなど、地道ながら着実な活動が進められています。

生ごみ堆肥化による循環型社会の構築

NPO 法人資源循環ネットワーク「グリーン愛す」（古河市）

生ごみの堆肥化によるごみの減量化などに取り組んでいます。週2回近隣の保育所から給食の残菜を回収し、堆肥化。この堆肥を使ってできた野菜は、子どもたちと一緒に収穫。給食の食材として使っています。生ごみは、燃やさず・埋め立てずリサイクルできるごみ。堆肥化して安全な農産物を生産し、まちの活性化につなげる「地域循環型」のまちづくりを目指して、活発な取り組みが進められています。



大好き いばらき 県民運動 活動紹介

ネットワーク活動推進大会 県南・県西ブロック

1月21日(日) 筑西市生涯学習センター(ペアーン)

「見直そう地域の良さを私たちの手で…」を大会テーマに、地域の方々が自分たちのまちづくりを考えるネットワーク活動推進大会県南・県西ブロックが開催され、約400人が参加しました。



大会では、ディスカバーまかべ副会長 吾妻周一氏による、旧真壁町の特徴を活かしたまちづくりの基調講演、地域の課題解決・活性化に向け活動を進めている筑西市「村若会」、取手市「第0研究室」、坂東市「庭打里山会」の3団体の活動事例発表や会場との意見交換を行い、まちづくりをみんなで考えることが出来ました。

また、アトラクションでは筑西市「ちびっこ合唱隊&こまくさコーラス」の3世代による合唱や筑西市「明野遊鼓座」の子どもたちによる太鼓が披露されました。

霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦

3月4日(日) 観音川フラワーロード(筑西市)

霞ヶ浦問題協議会、(財)茨城県企業公社、筑西市との共催により、宮山ふるさとふれあい公園(筑西市)近くの観音川フラ



ワーロード周辺にて「第67回霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦拠点地区事業」を実施しました。

早朝、宮山ふるさとふれあい公園に、地元住民をはじめとした霞ヶ浦・北浦流域市町村の住民など約500名が集合し、近くを流れる観音川沿いのフラワーロード周辺のごみ拾い作業を実施しました。

参加者の皆さんには、燃えるごみのほか、缶・ビン・ペットボトルやたばこなど車からポイ捨てされたと思われるようなごみをたくさん拾っていただきました。中には、テレビやタイヤなどの粗大ごみもありました。

3月上旬とは思えない陽気の中、それぞれ霞ヶ浦・北浦の水質浄化について理解を深めていました。

自治体職員のためのNPO研修会

2月26日(月) 茨城県三の丸庁舎(水戸市)

県職員・市町村職員を対象に、NPO法人などの市民団体との連携・協働について考えるきっかけとするための研修会を開催しました。



群馬県太田市地域総務課・大槻課長から、市税の1%を市民団体からの公募事業とする「1%まちづくり事業」について講演をいただいた後、県内NPO法人2団体からの事例発表を行いました。参加者はそれぞれの担当業務とも考え合わせながら、発表に聞き入っていました。

NPO運営セミナー

平成18年10月から19年3月にかけて、茨城NPOセンター・コモンズ、ひたちNPOセンター・with youの共催で、NPO運営セミナーを県



内5地区で開催しました。各地区ごとに、活動の検討段階が対象の「入門」、NPO法人の設立前後が対象の「基礎」、法人の発展を目指す「専門」の3講座に分かれ、それぞれの受講者は熱心に受講し、意見交換や参加者間の人脈づくりを行っていました。

ネットワーク委嘱状交付式

3月20日(火) 県民文化センター小ホール(水戸市)

大好き いばらき 県民会議会長の橋本県知事より、ネットワーク1人ひとりに委嘱状が手渡され、委嘱状交付後は、NHK水戸放送局長 寺崎 久哲氏により「私が見た茨城県とNHKの取り組み」と題し記念講演が行われました。



今回の委嘱者数は、新規120名、再委嘱492名の方々です。



県民運動を地域で支える

ネットワークカー訪問

大好き ひたちネットワーク

設立：平成18年5月
会長：山中 明雄
会員数：64名



平成16年10月に日立市と十王町が合併したことから「大好き ひたちネットワーク」と十王町のネットワークの方々とで統合し、平成17年5月、新たに「大好き ひたちネットワーク」が設立されました。

日立市は南北に長いことから4区域（北部・中央・中部・南部）に分かれて活動し、それぞれの地区同士で交流を図っています。平成18年度は、9月17日開催の「よかっまつり」への参加や平成19年1月25日に行われた「県北地域グランドゴルフ大会」の共催、山や海の清掃活動などを行いました。

そのなかでも特に環境美化活動には力を入れて取り組んでおり、7月9日に北部地区が行った『伊師浜海岸』のクリーン作戦では、揃いのジャンパーと「大好き いばらき 県民運動」のぼり旗を掲げ清掃活動を行いました。11月3日に行った『風の神山自然公園環境調査及びゴミ拾い』（南部・中部合同）では、回収できなかった粗大ゴミなどを行政に報告し処分を依頼しています。

今後の活動の目標として、「日立市は山と海どちらもあるので山林や海岸を中心に他の団体とも協力しあい清掃活動を行っていきたい。」と意気込みを語ってくれました。



Information

第8回 大好き いばらき ふれあいまつり～おいでよ♪春の三の丸～

お堀の桜の開花期に、茨城県三の丸庁舎（旧県庁舎）を中心に、県民の交流や地域の活性化を図るため、「第8回 大好き いばらき ふれあいまつり」を開催します。楽しい催しが盛りだくさんですので、ご家族・お友達お誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。

また、ゴミ削減のため、ふれあいまつりでは使い捨て容器ではなくリユース食器を使用いたします。ご来場の皆様にもゴミ持ち帰り、マイバッグ持参等、環境に配慮したまつりにご協力をお願いいたします。

◆日時 4月7日（土） 10時から16時30分まで（雨天時は8日（日）に順延）

◆場所 茨城県三の丸庁舎広場及びその周辺

◆内容

○ステージイベント

「水戸市立三の丸小学校吹奏楽部」「いばらき物知りクイズ」
「茨城名物ロックンロールまつりえつこコーステージライブ」
「水戸工業高校ジャズバンド部「BLUE BEGINNERS」ライブ」

○会場イベント

「商店街散策ふれあいスタンプラリー」
「“ねりんピック茨城2007開催記念”
歴史探訪ふれあいウォーキング」

○同時開催イベント

「弘道館入館無料」「県立図書館イベント（ライブラリーシアター）」
「オセロイベント（自由対局と有段者との多面打ち）」
@水戸駅自由通路・北口ペトリアンデッキ



投稿記事を募集しています！

広報誌「大好き いばらき」では、皆さまからの投稿記事を募集しています。地域で行われている活動をPRしてみませんか？

詳しくは、ホームページまたはお電話で！

大好き いばらき 県民会議

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎2F

TEL 029-224-8120 FAX 029-233-0030

URL <http://business2.plala.or.jp/daisuki/>

E-mail daisuki@atlas.plala.or.jp